

6月定例会 質疑

未来へ向けた取り組みに期待

6月定例会の質疑では、子どもたちの未来やこれから始まる事業への取り組み・対応策など、議員からさまざまな意見や要望が出されました。その中の一部を紹介します。

子供の再開に向け
取り組みは

再始動、集客等への対応は

小磯利雄議員

いよいよ来月からJヴィレッジが一部再開、そして本格的に順次いろいろ稼働します。

そこで、我が町として商工会の皆さん、あるいは関係する事業者の皆さんに、Jヴィレッジの集客等の対応を町は考えているのか。

遠藤産業振興課長

震災前、Jヴィレッジで大会等が開催されると、広野町商工会で関係団体に協力をいただきながら、物産販売

等をしていました。

これから再始動して、多くの人が集まるような大会等の時には、そのような取り組みをしていきたいという相談をしています。

また、町内の旅館ホテル等の利用客が減っており、町としてもさまざまな団体等に働きかけを行っており、町商工会の振興につながるような、取り組みをしていきたいと考えています。

小規模開発の実態は

門馬 巧議員

先般行われた植樹祭は、全国的に緑を増やそうというものと認識しています。

しかし、折木東下地区において、残念ながらこれと逆行するようないろいろな情報が、小規模開発したまま、現状使用されていないところがあります。

それに輪をかけて、さらに別件で町に申請している案件があるのですか。

遠藤産業振興課長

工事が行われた区域は、小規模林地開発の開発面積を超えており、県の林地開発の対象ということで、元の景観に戻すよう県の指導が入っています。

現在復旧事業が止まっているようで、県の方と連絡を取り、当該事業者を指導していきたいと思っています。

それから、その開発区域から離れたところで、新たな小規模林地開発事業の届け出が、町にあり受理をしますが、具体的な事業の方はまだ始まっていないようです。

Jヴィレッジ 7月28日から再始動

奨学資金貸与事業の実績は

北郷幹夫議員

奨学資金貸与事業について、補正で156万円増額されたが、これは何人分なのですか。

それから、現在全体で何人ぐらい貸付をしているのですか。

以前に未納金はないと聞いていたが、現在の状況はどうなっていますか。

坂本学校教育課長

今年度新規に申請された人が10人、総額1056万円となっております。当初予算で約900万円を計上していましたが、1000万円を超えてしまい、156万円の補正を計上しました。

また、継続して利用されている方は、13人、1368万円となっておりますが、滞納者はありません。

岡生涯学習課長

子供の設立につきましては、保護者からの強い要望もありますので、今年度中に公民館事業として、しっかり取り組んでいきたいと考えています。

遠藤 浩議員

町内での子供会は、震災後活動を停止しています。

これまで、子どもたちや保護者のコミュニティの入り口が子供会となっていました。再開に向け取り組みますが、どのように考えていますか。

福島県町村議会議長会より表彰



門馬 巧 議員

福島県町村議会議長会より門馬巧議員、北郷幹夫議員が表彰されました。

この表彰は、広野町議会議員として11年以上にわたり、地方自治の振興発展と住民福祉の向上に尽くされた功績に対し贈られるものです。

これからも、町発展と町民福祉の向上に尽くしてまいります。



北郷 幹夫 議員